



特276
537

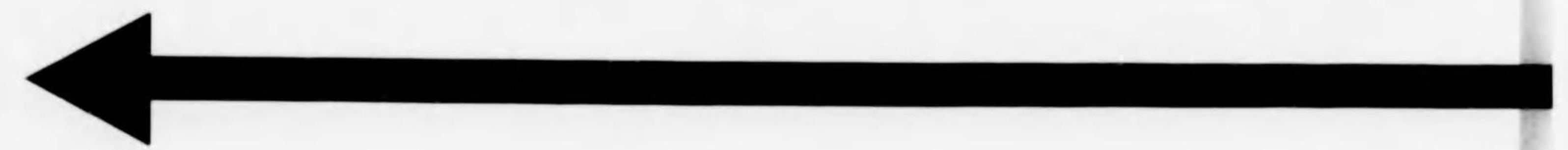
沖繩航路案内

291.99

大阪商船



始

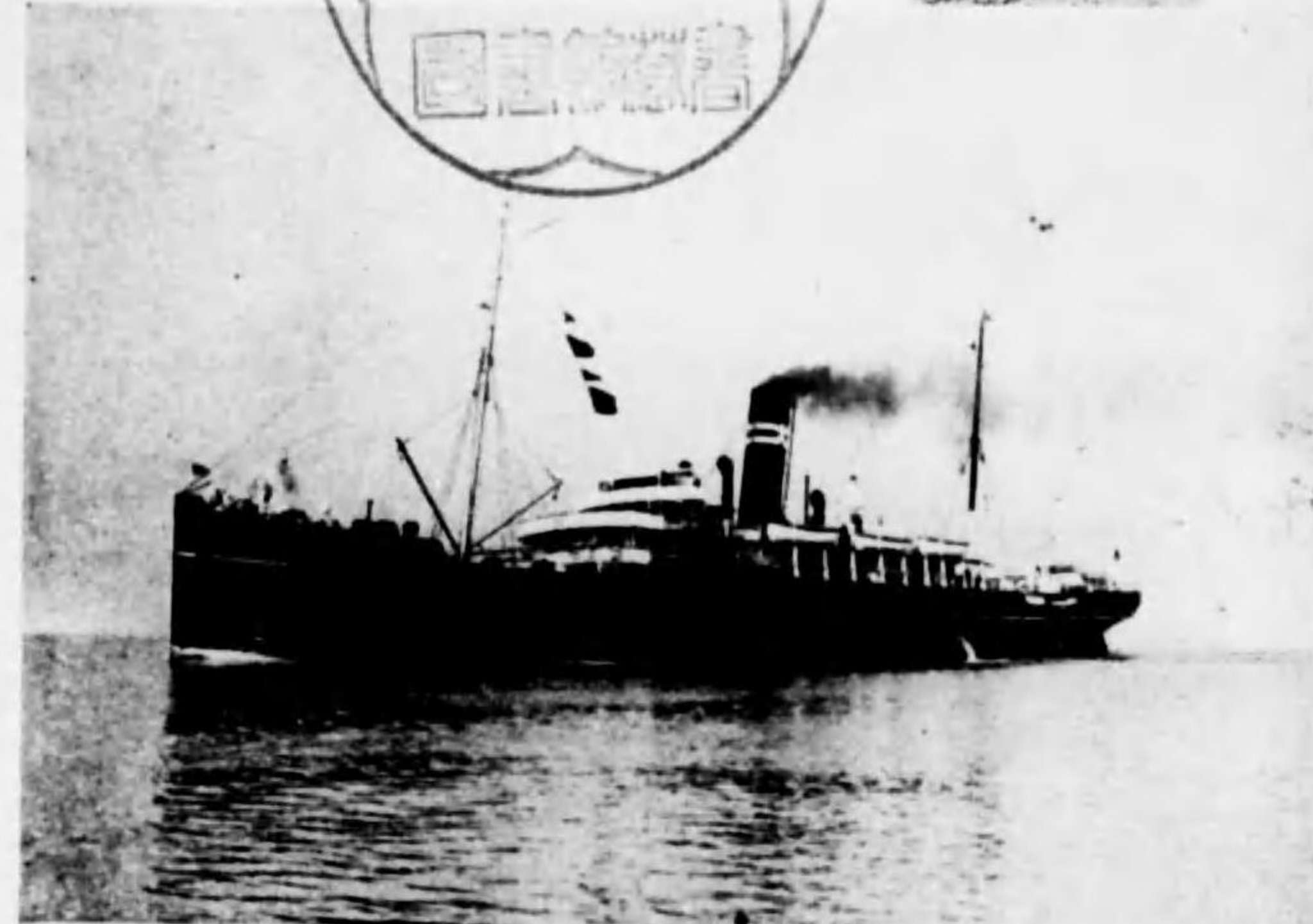
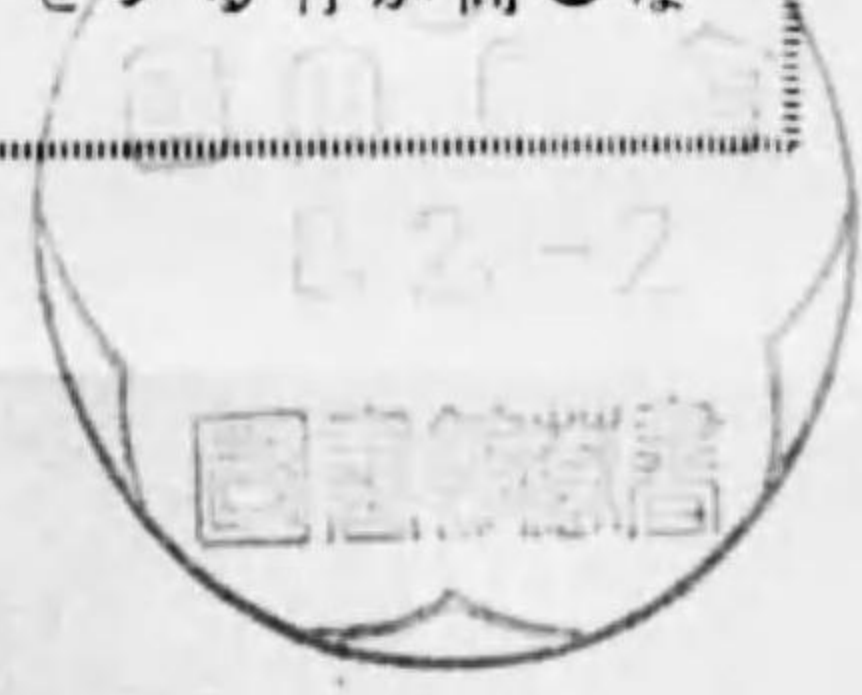


沖繩航路案内

昭和
八月

有史以來年々歳々颯風の暴虐と惡戦苦闘しつゝも、お伽噺のやうな王國を明治まで續けて來た琉球。甘蔗と、バナナと、アンガー(藝妓)と蛇皮線と、泡盛と琉球焼酎を名物にもつ琉球。大島紬で餘りにも名高い大島、僧俊寛や大西郷の史蹟のからまる奄美群島。其處には昔ながらの質朴な人情と、奇異な風俗と、外國語のやうな言葉と、南國特有の燃ゆる熱情が旅の人々を待ちもようけてゐます。蘇鐵の山、蟻舘する榕樹の巨木、バナナの林、パイヤの木、水邊に密生する熱帯樹マンダロープ等々、物みな獵奇と探勝の好題材とならないものはありません。ローマンスを尋ねて、南の國沖繩へ御出かけになりませんか。

奄美群島と沖繩へは阪神及鹿兒島から、大阪商船の左記諸航路が、唯一の交通路となつてゐます。



丸南臺 丸中臺 線那阪大

大阪那覇線 政府の命令航路で、毎月五回、六日、十二日、十八日、廿四日、三十日(二月は六日、十二日、十八日、廿四日、廿九日)大阪及び那覇の兩地から出帆致します。大阪を午後二時、神戸を翌日正午出帆して、中一日を海上に過し、三日日正午大島の名瀬着、其翌午前八時三十分沖繩の那覇港に到着する本州沖繩間の最捷路であります。使用船は、三千二百噸の客船、臺中丸、臺南丸の二隻で、客室は現代的に完備し、一、二等は洋風、特別三等は廣潤な疊敷となつてゐます。尙本船は、無線電信及び無線電話の設備がありますので、航海中自由に陸上と通信、通話が出来、船醫も乗船し無料で診察投薬申上げてゐます。

大阪沖繩線 毎月客船約三回、貨物船約三回、客船は、大阪神戸を出帆、鹿兒島、大島各島等を経て、那覇に至る航路で、阪神より大島各島行旅客のために御便宜であります。また貨物船は貨物の都合により往航、高松、坂出、多喜濱、新居濱、波止濱、糸崎、門司、油津、福島、鹿兒島に寄港し、宮古、八重山に延航し、復航、名護、古仁屋、宇和島、八幡濱、門司に寄港し、又名古屋、横濱、東京、北海道にまで延航することもあります。

鹿兒島那覇線 政府の命令航路で、毎月一日、五日、八日、十一日、十五日、十八日、廿一日、廿五日及廿八日の九回(二月は廿八日兩地發なし)、鹿兒島、那覇兩地から出帆、鹿兒島午後五時發、翌日午後名瀬着、三日日午前那覇に着きます。使用船は、千九百噸の客船百里丸及び開城丸の二隻で、船室の完備せるは申すまでもなく、兩船共無線電信を設備してゐます。

大島各島線 日高丸、奄美丸を以て毎月約六回、鹿兒島を出帆し、喜界島、大島の名瀬、古仁屋及び徳之島、沖永良部島、與論島の大島各島間を往復する定期航路であります。

那覇基隆線 毎週一回、那覇發、宮古、八重山、西表、基隆間を往復する臺灣沖繩間唯一の命令航路であります。使用船は二千五百噸の湖北丸と湖南丸の二隻で、無線電信を設備した優秀客船であります。

大阪鹿兒島線之便 大阪、神戸から細島、油津、志布志と九州各港に寄つて鹿兒島に月五回の便船が出てゐます。御急ぎでない旅なら、此れに御乗船になれば、九州の港々の情緒を味はひながら、甚だ經濟的な御旅行が出来ます。

遊覽案内

大島 沖繩生成の二柱が降られたとの神話を持つ奄美大島は、人情風俗悉く沖繩諸島に酷似し、有名な大島紬の産地で、砂糖、鯉節と共に島の重要物産となつてゐます。併し人口過剰の島民を養ふべく天産は貧弱な上に、年々の暴風雨に虐げられて島民は海外に、海上に、移民となり、船員となつて發展してゐます。名瀬港は島の主邑であり、大島紬の篋の音が戸毎に流れ、背後の山には蘇鐵やバナナが熟れて南國氣分を漂はせてゐます。徳之島、沖永良部島、與論島等は隆起珊瑚礁の島で、沖永良部島は大西郷流謫の地であります。

那覇市 遠く數百年前の王國時代から、沖繩の海港として發達し來つた那覇市は、沖繩の政治經濟の中心地であります。明治四十年起工した築港工事は總計二百三十萬圓の工費を投じて完成し、千噸乃至三四千噸級の船は、同時に五六隻を岸壁に繋留出來、市の人口七萬、舊都百里へはバスがあり、糸滿與那原、嘉手納の各地とは汽車が連絡してゐます。

波上宮 市の西北の丘上に鎮座し、伊弉諾命、事解男命、速玉男命の三體を祀る官幣小社で、海に臨みて斷崖數十丈、壯麗な神域であり、絶佳の勝地でありまして、那覇市民は參詣に、散策に、納涼に娯集致します。波上神社の石段に登る手前に、眞言宗の名刹護國寺があります。

天尊廟 護國寺に隣接し、沖繩に残る唯一の道教廟祠で、本尊の天尊像は傑作と言はれてゐます。

奥武山公園 那覇港の水が奥深く入江となつた漫湖に泛ぶ中の島が奥武山公園と呼ばれてゐます。園内には松樹繁り閑雅幽邃の地で、沖繩開拓の名知事、那覇築港の計畫者奈良原男爵の銅像、那覇市の運動場があります。

墳墓 那覇到る處にある墳墓の立派なものには驚かされます。沖繩では墳墓は一種の財産であつて之が造営に數千圓を投じ、遺産を蕩盡するものさへ



電大島名瀬港

那覇市の波

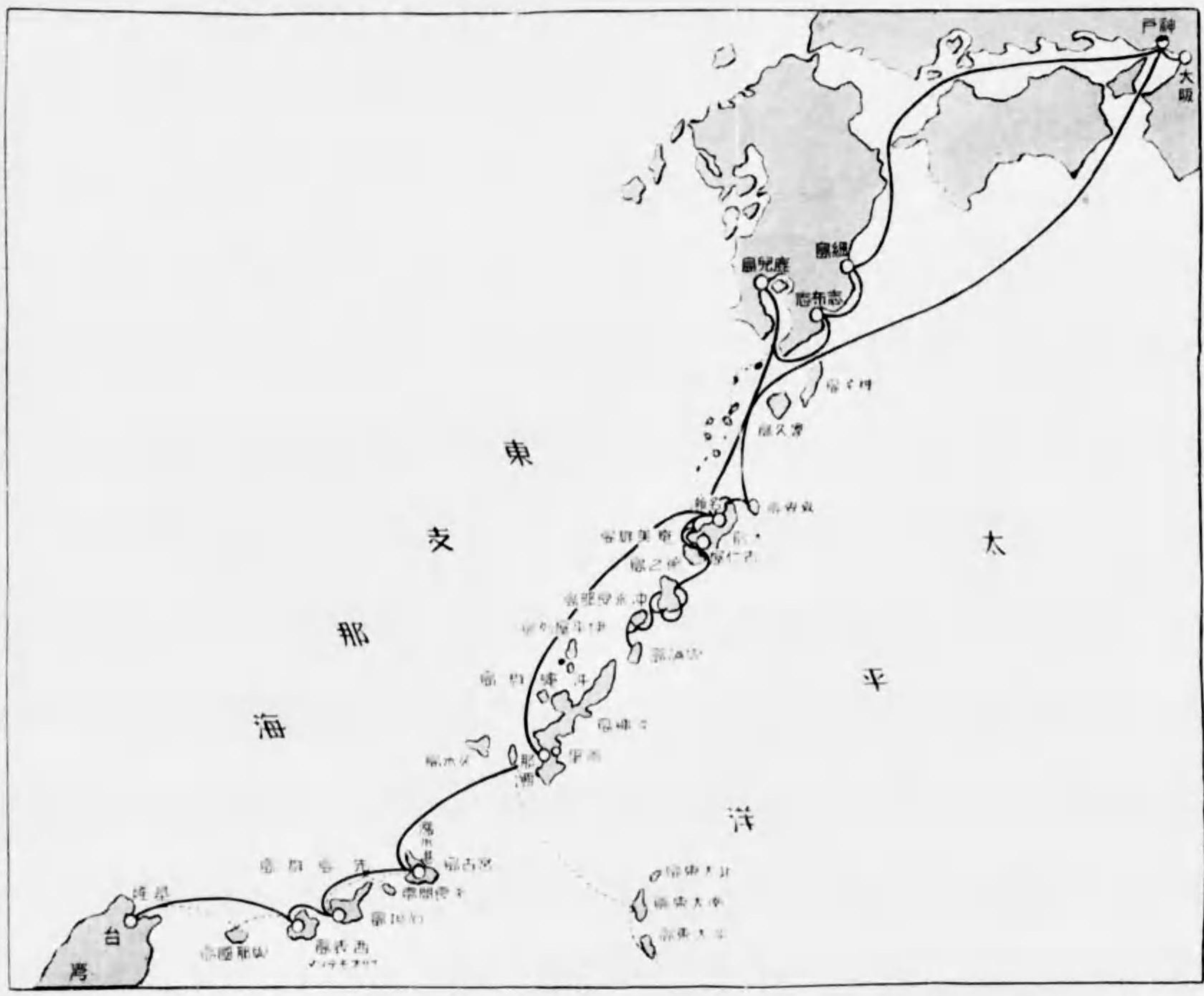


那覇郊外崇元寺

那覇の墓地

沖繩





大阪鹿兒島線 (乙便) (毎月五回)				大島各島線 (甲便) (毎月六回)				大阪沖繩線 (毎月五回)				那覇基隆線 (甲便) (毎週一回)				鹿兒島那覇線 (命令) (毎月九回)			
航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復		
鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志		
後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前		
3 3	3 3	2 1	1 1	4 4	3 3	2 2	2 1	6 5	4 3	3 3	1 1	3 2	2 1	5 4	4 4	2 2	2 2		
航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復	航往	航復		
鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志	鹿志油 鹿兒島 志布志		
後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前	後 前		
2 2	2 2	6 5	5 4	4 4	4 4	6 5	5 5	12 12	10 9	8 8	7 7	6 5	4 4	10 10	8 8	8 8	8 8		

大島各島各港間 (各等)				大阪沖繩大東線 (不定期)				大阪鹿兒島線 (各等)				那覇基隆線 (各等)						
沖水島	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志
小和	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志
米泊	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志
相瓦	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志
相瓦	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志	鹿志油	鹿兒島	志布志

(二〇六二A) (大阪 濱田印行)

終

